

●分析対象論文

- 小塩真司・岡田 涼・茂垣まどか・並川 努・脇田貴文 (2014). 自尊感情平均値に及ぼす年齢と調査年の影響—Rosenberg の自尊感情尺度日本語版のメタ分析—
教育心理学研究, **62**, 273-282.
1. 阿部美帆・今野裕之 (2007). 状態自尊感情尺度の開発 パーソナリティ研究, **16**, 36-46.
 2. 相川 充 (1999). 孤独感の低減に及ぼす社会的スキル訓練の効果に関する実験的検討 社会心理学研究, **14**, 95-105.
 3. 相澤文恵・杉浦 剛・相澤 譲・岸 光男・米満正美 (2011). 歯科衛生士のセルフ・エスティームと職務に対する価値観との関連 日本健康教育学会誌, **19**, 217-228.
 4. 青木邦男 (2004). 在宅高齢者の社会活動性に関連する要因の共分散構造分析 社会福祉学, **45**, 23-34.
 5. 青木邦男・松本耕二 (2001). 在宅高齢者のセルフ・エフィカシーとそれに関連する要因 社会福祉学, **41**, 35-48.
 6. 趙 善英・松本芳之・木村 裕 (2009). 公的自己意識と対人不安, 自己顕示性の関係への自尊感情の調節効果の日韓比較 心理学研究, **80**, 313-320.
 7. 趙 善英・松本芳之・木村 裕 (2011). 回想された親の養育行動が大学生の自尊感情に及ぼす影響の日韓比: 行動分析学的な解釈 社会心理学研究, **27**, 1-12.
 8. 江見弥生・中塚幹也・奥田博之 (2006). 育児希望のある子宮内膜症症例の自尊感情についての検討 母性衛生, **46**, 598-607.
 9. 遠藤由美 (1992). 自己評価基準としての負の理想自己 心理学研究, **63**, 214-217.
 10. 遠藤由美 (2007). 自己紹介場面での緊張と透明性錯覚 実験社会心理学研究, **46**, 53-62.
 11. 藤本 薫・島袋香子・高橋真理 (2006). 育児生活のコーチングが褥婦の情緒的側面に及ぼす影響 日本女性心身医学会雑誌, **11**, 243-249.
 12. Fuyuki, M., & Motomura, H. (1997). A study on the different dimensions of fathers' roles and their relations to father-child interactions leading to children's self-esteem. 日本家政学会誌, **48**, 677-687.
 13. 源氏田憲一 (2012). サポート／否定的相互作用の効果と受容の認知—ソシオメーター理論に基づく媒介仮説の検討— 実験社会心理学研究, **51**, 118-129.
 14. 原島雅之・小口孝司 (2007). 顕在的自尊心と潜在的自尊心が内集団ひいきに及ぼす効果 実験社会心理学研究, **47**, 69-77.
 15. 長谷川孝治・浦 光博 (1998). アイデンティティ-交渉過程と精神的健康との関連についての検討 実験社会心理学研究, **38**, 151-163.
 16. 長谷川孝治・浦 光博 (1999). 自己評価に関する自他の相互影響過程の変容についての検討—アイデンティティ交渉の理論的枠組を用いて— 社会心理学研究, **15**, 110-124.
 17. 畑野 快 (2010). 青年期後期におけるコミュニケーションに対する自信とアイデンティティとの関連性 教育心理学研究, **58**, 404-413.
 18. 速水敏彦・小平英志 (2006). 仮想的有能感と学習観および動機づけとの関連 パーソナリティ研究, **14**, 171-180.
 19. 林 文俊・堀内 孝 (1997). 自己認知の複雑性に関する研究—Linville の指標をめぐって— 心理学研究, **67**, 452-457.

20. 本間友巳 (2003). 中学生におけるいじめの停止に関連する要因といじめ加害者への対応 教育心理学研究, **51**, 390-400.
21. 細越寛樹・小玉正博 (2009). 悲観的思考の受容が対処的悲観者の心身の健康に及ぼす影響 心理学研究, **79**, 542-548.
22. 石丸徑一郎 (2004). 性的マイノリティにおける自尊心維持—他者からの受容感という観点から— 心理学研究, **75**, 191-198.
23. 石津和恵 (2000). 生徒の自尊感情ならびに教師との心理的距離と, 教師の用いる対称詞受容の関係 カウンセリング研究, **33**, 40-47.
24. 磯部智加衣・浦 光博 (2002). 内集団成員との上方比較後の感情・状態自尊心に, 集団間上方比較と特性自尊心が及ぼす影響 実験社会心理学研究, **41**, 98-110.
25. 伊藤正哉・小玉正博 (2006). 大学生の主体的な自己形成を支える自己感情の検討: 本来感, 自尊感情ならびにその随伴性に注目して 教育心理学研究, **54**, 222-232.
26. 伊藤美奈子 (1994). 学校カウンセリングに関する探索的研究—教師とカウンセラーの役割兼務と連携をめぐって— 教育心理学研究, **42**, 298-305.
27. 伊藤美奈子 (1995). 孤独感類型の変化から見た個人志向性・社会志向性の発達過程 心理学研究, **66**, 10-15.
28. 伊藤忠弘 (1999). 社会的比較における自己高揚傾向—平均以上効果の検討— 心理学研究, **70**, 367-374.
29. 伊藤裕子 (2001). 青年期女子の性同一性の発達—自尊感情, 身体満足度との関連から— 教育心理学研究, **49**, 458-468.
30. 井関敦子・大橋一友 (2011). 地域在住の中高年女性のうつ傾向と社会的背景および自尊感情との関連—中年期群と高年期群との比較— 母性衛生, **51**, 640-646.
31. 甲斐村美智子・久佐賀眞理 (2008). 月経用ナプキンの使用が女子学生の不定愁訴に及ぼす影響 日本女性心身医学会雑誌, **13**, 143-152.
32. 神原 歩・遠藤由美 (2013). 合意性推測の高さが脅威に晒された自己肯定感を修復する効果 実験社会心理学研究, **52**, 91-103.
33. 片山理恵・内藤直子 (2011). 乳幼児をもつ母親, 父親の家族機能と子育て支援 日本女性心身医学会雑誌, **15**, 294-304.
34. Kawai, K., & Yamazaki, Y. (2006). The effects of pre-entry career maturity and support networks in workplace on newcomers' mental health. *Journal of Occupational Health*, **48**, 451-461.
35. 河村茂雄 (1999). 生徒の援助ニーズを把握するための尺度の開発 (1) —学校生活満足度尺度 (中学生用) の作成— カウンセリング研究, **32**, 274-282.
36. 川崎直樹・小玉正博 (2007). 対人恐怖傾向と自己愛傾向の共通構造としての自己概念の乖離性及び不安定性の検討 パーソナリティ研究, **15**, 149-160.
37. 川崎直樹・小玉正博 (2010). 自己に対する受容的認知のあり方から見た自己愛と自尊心の相違性 心理学研究, **80**, 527-532.
38. 川崎直樹・小玉正博 (2011). 親和・競争欲求からみた自己愛傾向と自尊心—欲求の充足度という観点を加えた検討— カウンセリング研究, **44**, 209-215.
39. 木村真人・水野治久 (2004). 大学生の被援助志向性と心理的変数との関連について—学生相談・友達・家族に焦点をあてて— カウンセリング研究, **37**, 260-269.
40. 北村琴美 (2008). 過去および現在の母娘関係と成人女性の心理的適応性—愛着感情と抑うつ傾向, 自尊感情との関連— 心理学研究, **79**, 116-124.
41. 小林知博 (2004). 成功・失敗後の直接・間接的自己高揚傾向 社会心理学研究, **20**, 68-79.

42. 小平英志・小塩真司・速水敏彦 (2007). 仮想的有能感と日常の対人関係によって生起する感情経験—抑鬱感情と敵意感情のレベルと変動性に注目して— パーソナリティ研究, **15**, 217-227.
43. 久木山健一 (2005). 青年期の社会的スキル改善意欲に関する検討 発達心理学研究, **16**, 59-71.
44. 栗原慎二 (2002). 学校における短期カウンセリングモデルの研究 カウンセリング研究, **35**, 30-39.
45. 栗原慎二 (2007). 短期カウンセリングモデルによる進路カウンセリングが高校生の進路発達に及ぼす影響 カウンセリング研究, **40**, 59-69.
46. 黒田祐二・有年恵一・桜井茂男 (2004). 大学生の親友関係における関係性高揚と精神的健康との関係—相互協動的-相互独立的自己観を踏まえた検討— 教育心理学研究, **52**, 24-32.
47. 黒田裕子・末原紀美代 (2006). 青年期女性の乳房セルフケアに関する行動と知識 母性衛生, **47**, 397-405.
48. 増田明美・塚本康子 (2007). 思春期における不登校経験がセルフエスティームに与える影響—発達段階別にみた不登校経験者と非不登校経験者との比較— 母性衛生, **47**, 607-615.
49. 松本麻友子・山本将士・速水敏彦 (2009). 高校生における仮想的有能感といじめとの関連 教育心理学研究, **57**, 432-441.
50. 松岡弥玲 (2006). 理想自己の生涯発達—変化の意味と調節過程を捉える— 教育心理学研究, **54**, 45-54.
51. 松岡弥玲・加藤美和・神戸美香・澤本陽子・菅野真智子・詫間里嘉子・野瀬早織・森ゆき絵 (2006). 成人期における他者視点（子ども，配偶者，両親，友人，職場の人）の理想—現実自己のズレが自尊感情に及ぼす影響—性役割観との関連から— 教育心理学研究, **54**, 522-533.
52. 三浦正江・上里一郎 (2006). 高齢者におけるソーシャルサポート授受と自尊感情，生活充実感の関連 カウンセリング研究, **39**, 40-48.
53. 宮本美沙子・中田美子・堀野 緑 (1994). 大学生と高齢者における可能自己と達成関連動機との関係について 発達心理学研究, **5**, 22-30.
54. Miyataka, F. (2002). Longitudinal study of changes in the mother's consciousness after childbirth and related paternal factors: Comparison between primiparas and multiparas during 18 months after childbirth. 日本女性心身医学会雑誌, **7**, 95-107.
55. Mitsui, T. (2005). Psychological characteristics of Japanese female college students with disturbed eating behaviors: Personality traits, self-esteem, and sense of identity. *Japanese Journal of Psychosomatic Medicine*, **45**, 43-52.
56. 水本深喜・山根律子 (2011). 青年期から成人期への移行期における母娘関係—「母子関係における精神的自立尺度」の作成および「母子関係の4類型モデル」の検討— 教育心理学研究, **59**, 462-473.
57. 水野治久・石隈利紀・田村修一 (2006). 中学生を取り巻くヘルパーに対する被援助志向性に関する研究—学校心理学の視点から— カウンセリング研究, **39**, 17-27.
58. 茂垣まどか (2005). 青年の自我理想型人格と超自我型人格の精神的健康—志向性とべきの専制の様相の観点から— 教育心理学研究, **53**, 344-355.
59. 森美保子 (2002). 自己開示抵抗感のある学生に対する想定書簡法の効果—構成的グループ・エンカウンターと比較して— カウンセリング研究, **35**, 20-29.

60. 森尾博昭・山口 勸 (2007). 自尊心の効果に対する調節変数としての自己概念の力動性—ナルシズムとの関連から— 実験社会心理学研究, **46**, 120-132.
61. 諸井克英 (1985). 高校生における孤独感と自己意識 心理学研究, **56**, 237-240.
62. 諸井克英 (1989). 大学生における孤独感と対処方略 実験社会心理学研究, **29**, 141-151.
63. 諸井克英 (1990). 大学生における孤独感と原因帰属 実験社会心理学研究, **30**, 41-52.
64. 室山晴美・堀野緑 (1994). 競争場面における対人認知および課題認知の変容 教育心理学研究, **38**, 269-276.
65. 永井 智 (2010). 大学生における援助要請意図—主要な要因間の関連から見た援助要請意図の規定因— 教育心理学研究, **58**, 46-56.
66. 中村佳子・浦 光博 (1999). 適応および自尊心に及ぼすサポートの期待と受容の交互作用効果 実験社会心理学研究, **39**, 121-134.
67. 中野美佳 (2011). 肯定的出産体験をもたらすための看護—出産体験の想起・統合を促す看護の効果の検証— 母性衛生, **52**, 111-119.
68. 中野良哉 (2012). 理学療法学科学生の職業的アイデンティティと仮想的有能感 理学療法科学, **27**, 147-150.
69. 並川 努 (2011). 継時的比較の個人差—継時的比較志向性尺度の作成と検討— 心理学研究, **81**, 593-601.
70. 縄井清志・広村 健・岸あゆみ・原崎淳子・伊東浩一・鶯 春夫・佐藤和男・岩上哲也 (1998). 疾病による ADL 障害と自己評価 (Self-esteem) との関連性 理学療法科学, **25**, 300-307.
71. 丹羽智美 (2005). 青年期における親への愛着と環境移行期における適応過程 パーソナリティ研究, **13**, 156-169.
72. 野田洋子 (2003). 女子学生の月経の経験 第 2 報 月経の経験の関連要因 日本女性心身医学会雑誌, **8**, 64-78.
73. 野村信威 (2009). 地域在住高齢者に対する個人回想法の自尊感情への効果の検討 心理学研究, **80**, 42-47.
74. 野村信威・橋本 幸 (2001). 老年期における回想の質と適応との関連 発達心理学研究, **12**, 75-86.
75. 野村信威・橋本 幸 (2006a). 地域在住高齢者に対するグループ回想法の試み 心理学研究, **77**, 32-39.
76. 野村信威・橋本 幸 (2006b). 青年期における回想と自我同一性および心理的適応の関連 パーソナリティ研究, **15**, 20-32.
77. 大谷保和 (2004). 自己志向的完全主義の 2 側面と自己評価的抑うつ傾向の関連の検討—統制不可能事態への対処を媒介として— 心理学研究, **75**, 199-206.
78. 大原美知子・妹尾栄一 (2004). 学童期の子をもつ母親の虐待行動とその要因 社会福祉学, **45**, 46-56.
79. 大石美佳・松永しのぶ (2008). 大学生の自立の構造と実態—自立尺度の作成— 日本家政学会誌, **59**, 461-469.
80. 岡田 努 (1987). 青年期男子の自我理想とその形成過程 教育心理学研究, **35**, 116-121.
81. 岡田 努 (1993). 現代の大学生における「内省および友人関係のあり方」と「対人恐怖的心性」との関係 発達心理学研究, **4**, 162-170.
82. 岡田 努 (1995). 現代大学生の友人関係と自己像・友人像に関する考察 教育心

- 心理学研究, **43**, 354-363.
83. 岡田 努 (2007). 大学生における友人関係の類型と, 適応及び自己の諸側面の発達の関連について パーソナリティ研究, **15**, 135-148.
 84. 岡田 努・永井 徹 (1990). 青年期の自己評価と対人恐怖的心性との関連 心理学研究, **60**, 386-389.
 85. 小野寺敦子 (2003). 親になることによる自己概念の変化 発達心理学研究, **14**, 180-190.
 86. 小塩真司 (2001). 自己愛傾向が自己像の不安定性, 自尊感情のレベルおよび変動性に及ぼす影響 性格心理学研究, **10**, 35-44.
 87. 小塩真司・中谷素之・金子一史・長嶺伸治 (2002). ネガティブな出来事からの立ち直りを導く心理的特性—精神的回復力尺度の作成— カウンセリング研究, **35**, 57-65.
 88. 小塩真司・西野拓朗・速水敏彦 (2009). 潜在的・顕在的自尊感情と仮想的有能感の関連 パーソナリティ研究, **17**, 250-260.
 89. 太田さつき (2006). 多重な役割従事と心理的 well-being との結びつき—役割間の関係性を含めた検討— 心理学研究, **76**, 503-510.
 90. 小田部貴子・加藤和生・丸野俊一 (2009). 「傷つき体験」の内実とその心理的影響の解明 青年心理学研究, **21**, 17-29.
 91. 大塚明子・瀬戸正弘・菅野 純・上里一郎 (1998). 自殺念慮尺度の作成と自殺念慮に関連する要因の研究 カウンセリング研究, **31**, 247-258.
 92. 佐久間路子・無藤 隆 (2003). 大学生における関係的自己の可変性と自尊感情との関連 教育心理学研究, **51**, 33-42.
 93. 島 義弘 (2012). アタッチメントの内的作業モデルと仮想的有能感の関連 パーソナリティ研究, **21**, 176-182.
 94. 島田 泉・高木 修 (1994). 援助要請を抑制する要因の研究 I —状況認知要因と個人特性の効果について— 社会心理学研究, **10**, 35-43.
 95. 塩澤聖子 (2008). 大学新生を調査対象とした大学生用ソーシャルサポート尺度の作成 学校メンタルヘルス, **11**, 33-42.
 96. 曾山和彦・本間恵美子・谷口 清 (2004). 不登校中学生のセルフエスティーム, 社会的スキルがストレス反応に及ぼす影響 特殊教育学研究, **42**, 23-33.
 97. 菅沼真樹 (1997). 老年期の自己開示と自尊感情 教育心理学研究, **45**, 378-387.
 98. 杉本英晴・速水敏彦 (2012). 大学生における仮想的有能感と就職イメージおよび時間的展望 発達心理学研究, **23**, 224-232.
 99. 杉山智春 (2009). 看護学生の家族関係と共感性および自尊感情との関連について 母性衛生, **49**, 484-491.
 100. 鈴木幹子・伊藤裕子 (2001). 女子青年における女性性受容と摂食障害傾向—自尊感情, 身体満足度, 異性意識を媒介として— 青年心理学研究, **13**, 31-46.
 101. 田端拓哉・池上知子 (2011). 自我脅威状況における補償的自己高揚の検討 社会心理学研究, **27**, 47-54.
 102. 高井範子 (1999). 対人関係の視点による生き方態度の発達的研究 教育心理学研究, **47**, 317-327.
 103. 田仲由佳・上長 然・齊藤誠一 (2011). 中年期女性の閉経段階と精神的健康の関連—意識と症状を媒介として— 心理学研究, **81**, 551-559.
 104. 寺島 瞳・小玉正博 (2007). 他者を操作することに影響を及ぼす個人内要因の検討 パーソナリティ研究, **15**, 313-322.

105. 徳永侑子・堀内 孝 (2012). 邦訳版自己概念の明確性尺度の作成および信頼性・妥当性の検討 パーソナリティ研究, **20**, 193-203.
106. 塚脇涼太・平川 真 (2012). ユーモア表出およびその動機と心理社会的健康 パーソナリティ研究, **21**, 53-62.
107. 内田知宏・川村知慧子・三船奈緒子・濱家由美子・松本和紀・安保英勇・上柰高志 (2012). 日本版 Brief Core Schema Scale を用いた自己, 他者スキーマの検討— クラスタパターンの類型化および抑うつとの関連— パーソナリティ研究, **20**, 143-154.
108. Ueda, S., & Matsuzaki, I. (2004). Self-esteem and smoking, drinking and drug use in Japanese high school students. 民族衛生, **70**, 95-111.
109. 上田琢哉 (1996). 自己受容概念の再検討—自己評価の低い人の“上手なあきらめ”として— 心理学研究, **67**, 327-332.
110. 浦上涼子・小島弥生・沢宮容子・坂野雄二 (2009). 男子青年における瘦身願望についての研究 教育心理学研究, **57**, 263-273.
111. 若本純子 (2007). 中高年期の自己評価における発達的特徴—自尊感情との関連,および領域間の関連に注目して— パーソナリティ研究, **16**, 1-12.
112. 若本純子 (2010). 中年期の老いの自覚と対処における「関心」の向け方による相違 教育心理学研究, **58**, 151-162.
113. 若本純子・無藤隆 (2004). 中年期の多次元的自己概念における発達的特徴—自己に対する関心と評価の交互作用という観点から— 教育心理学研究, **52**, 382-391.
114. 脇本竜太郎 (2008). 自尊心の高低と不安定性が被援助志向性・援助要請に及ぼす影響 実験社会心理学研究, **47**, 160-168.
115. 脇本竜太郎 (2010). 自尊心の高低・不安定性の 2 側面と達成動機の関連 パーソナリティ研究, **18**, 117-128.
116. 山田剛志 (2004a). 理想自己の観点からみた大学生の自己形成に関する研究 パーソナリティ研究, **12**, 59-72.
117. 山田剛史 (2004b). 現代大学生における自己形成とアイデンティティ—日常的活動とその文脈の観点から— 教育心理学研究, **52**, 402-413.
118. 山田みき・岡本祐子 (2008). 「個」と「関係性」からみた青年期におけるアイデンティティ—対人関係の特徴の分析— 発達心理学研究, **19**, 108-120.
119. 山内貴史・須藤杏寿・丹野義彦 (2009a). 日本語版 Brief Core Schema Scales の信頼性・妥当性 心理学研究, **79**, 498-505.
120. 山内貴史・須藤杏寿・丹野義彦 (2009b). 日本語版パラノイア・チェックリストの因子構造および妥当性の検討 パーソナリティ研究, **17**, 182-193.
121. 柳澤邦昭・西村太志 (2009). 他者との相互作用場面における他者選択に自尊心の差異が及ぼす影響—説得納得ゲームを用いた検討— 実験社会心理学研究, **49**, 93-103.
122. 谷田部仁子 (2011). 助産師の専門性に影響する要因—分娩期ケアの実践能力に焦点をあてて— 母性衛生, **51**, 586-593.
123. 油尾聡子・吉田俊和 (2012). 送り手との互惠性規範の形成による社会的迷惑行為の抑制効果—情報源の明確な感謝メッセージに着目して— 社会心理学研究, **28**, 32-41.